

H25.11.14 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

○日 時：平成25年11月14日（木） 15時00分～17時00分

○議事概要：

表 H25.11.14 設楽ダム猛禽類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
1.猛禽類検討会の検討経緯について	・猛禽類検討会の経緯、前回検討会での指摘と対応について報告した。	・幼鳥の行動範囲は、 2.平成25年繁殖シーズンの調査結果で報告した。	・特になし	
2.平成25年繁殖シーズンの調査結果について	・クマタカ、およびその他の猛禽類の調査結果を報告した。	・平成24年度生まれの幼鳥が確認された。また、クマタカ、3ペアすべてにおいて繁殖が確認されなかった。 ・クマタカ3ペアのコアエリアや繁殖テリトリー、幼鳥の行動範囲の状況について報告した。 ・サシバの2ペアが繁殖していることを確認した。	・幼鳥の行動範囲の推定方法を明確に示すこと。 ・幼鳥の行動範囲の考え方としては実際に観察した確認記録の範囲よりも幼鳥の生育に必要と考えられる範囲を推定することが重要である。 ・幼鳥が1年以上親鳥の繁殖テリトリーに留まっている場合は、2年目のデータも合わせて幼鳥の行動範囲の推定を行ってもよいのではないか。	・事務局：幼鳥の行動範囲の推定方法は、繁殖した年の確認記録を基に「ダム事業におけるイヌワシ・クマタカの調査方法〔改訂版〕」に即した手法及び最外郭法の両手法を用いて単年の範囲設定、複数年の範囲設定を示して検証する。また、行動範囲の推定根拠等も詳細に記述することとする。 （整理内容は、後日委員に確認していただく） ・事務局：事業による環境保全措置の検討においては、近年の繁殖が同じ営巣木で複数回行われている場合は、包括的な範囲で検討する。
3.平成25年度のモニタリング結果の評価について	・平成25年度のモニタリング結果の評価を報告した。	・平成25年繁殖シーズンに工事を実施していないため、事業による影響はなかった。	・特になし	
4.平成26年繁殖シーズンの調査計画(案)について	・平成26年繁殖シーズンの調査計画(案)を説明した。	・平成25年繁殖シーズンと同様のクマタカ調査計画(案)およびその他の猛禽類調査計画(案)などの報告を行った。	・CCDカメラの設置等も今後対応を予定しているか。 ・工事実施時の騒音計の設置を予定しているか。 ・事務局が示した調査計画(案)で実施することを了承する。	・事務局：事業影響が大きいと考えられる場合や、工事実施区域の位置等に合わせ、対応の必要性を検討していく。
5.クマタカへの環境保全措置の対応方針について	事業実施時のクマタカへの環境保全措置の対応方針(案)を説明した。	事業実施時のクマタカへの環境保全措置の対応内容や検討工程などを説明した。	・環境保全措置は翌年度の事業に反映する必要があるため、十分な検討期間を要するため事業計画が明らかになった段階で早めに情報提供願いたい。 ・工事内容が分かる平面図や横断図や営巣木周辺の植生が分かる航空写真等の資料で情報提供願いたい。	・事務局：対応に遅れないよう、事業計画が明らかになった段階でできるだけ速やかに情報提供をする。 また、場合によっては個別に委員へヒアリングを行うなどの対応も考えていきたい。

6.その他	・各種マニュアル等の改訂について報告した。	・猛禽類保護の進め方（環境省）や環境省レッドリストが改訂されたため、対応を報告した。	・事務局が示した対応内容で実施することを了承する。	
-------	-----------------------	--	---------------------------	--